



なばなの里にて
~ 花満開のなばなの里は患者さまのレクリエーションでよく利用させてもらいます ~

知多半島地域こころの健康フェスティバル

平成15年3月8日、東浦町文化センターにおいて、私たち一人ひとりの心の健康を考える集い『知多半島地域こころの健康フェスティバル』が開かれました。フェスティバルは、今年で5回目を迎え、知多半島五市五町の自治体をはじめ、知多半島地域こころの健康づくり連絡協議会の医療機関・福祉団体・ボランティアなどが参加しています。

フェスティバルは、午前10時半、榎本和共和病院院長の「障害のある方のみならず、私たち一人ひとりのこころの健康を考え、地域で共に暮らしていくという意識を持っていきたい」との開会あいさつに続き、ボランティアグループいきいき倶楽部とワークルームかもめ、美浜町保健センターの皆さんによる劇からスタートしました。いきいきとした老後を送るための「しよく」と言う3つのキーワードを紹介。その3つとは「食……どのようなものを食べるか」「触……どのように人とのふれ合いををもち、生き甲斐に結びつけていくか」「職……どのように毎日を過ごしていくか」

を高齢社会の問題をおばあさんが孫に話していくと言う設定で劇は進行します。テレビ画面の中から情報番組風な解説やパワーポイントを用いた統計の説明など演出には工夫を凝らして、とても分かりやすく、演技されているみなさんのいきいきとした表情がとても印象に残りました。

*

続いて体験発表では断酒会の方が自らの辛い体験とそこから再起を果たし、新しい人生の歩みをはじめた真剣な姿が発表から伝わり会場の共感を誘っていました。

次に、あゆみの会作業所の皆さんによるコーラス「亜麻色の髪の乙女」が披露されました。午前の部の最後は、憩の郷ギターサークルの皆さんによる演奏がありました。とても活動を開始して半年のクラブとは思えない演奏で、アコースティックなサウンドが心地よく、会場全体が包まれました。

TOPICS・EVENT

知多半島地域こころの健康フェスティバル➡



日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク



当日、会場には様々な活動や作品を紹介した展示コーナー、似顔絵ライブコーナーが設けられ、

中庭広場では大道芸が行われ参加者を楽しませてくれました。また、多くの施設やグループが嗜好を凝らしたバザーや自主製品の販売、うどん、ラーメンなどのお店で賑わいました。特に大道芸人ファニートンボ・ワンマンバンドさんは、口元にカズー、手にはギター、背中にバスドラム、スネアドラム、

ハイハット、シンバルをロープで操りながら、



迫力ある歌声とアコースティックなサウンドを奏でながら、広場狭しとパフォーマンスを披露してくれました。会場を行き交う参加者もその迫力に暫し足を止め聞き入っていました。

★

さて、午後の部の最初は、ボランティアグループひまわりの方による腹話術。独りよがりの素人芸とおっしゃっていましたが、なかなかどうしてお上手でした。ユーモワたっぷりの話術で会場を楽しませてくれました。

続いて、健康づくりリーダー連絡協議会知多半島ブロックの皆さんによる「夢

の貯筋体操」の発表が行われ、会場の参加者も一緒になって体操をしていました。次に、憩の郷和太鼓サークルによる和太鼓の演奏。結成して1年にも満たないとのことですが、堂に入ったばちさばきと力強く勇壮な和太鼓のリズムはとても感動的でした。



最後は、南知多病院デイケアのメンバーによる音楽で、ハンドベルの演奏で始まった「大きな古時計」と「お祭りマンボ」の合唱が披露されました。

★

セレモニーは、「現在は、統合失調症やうつ病などの精神病ばかりでなく、非精神病であるPTSDや不登校、ひきこもりと言った児童・思春期のこころの問題もクローズアップされつつあります。そんな中で、私どものこころの健康づくりは、多くの方々には好感と興味を持っていただいております。できるだけ多くの方々に、こころの問題を理解していただくために、今年もフェスティバルを盛大なものにしたいと思っております。」と田中誠会長(南知多病院院長)のあいさつに続いて、大会宣言が石田トミエ副会長(知多地域精神障害者家族会あゆみの会長)により高らかに宣言されました。

★

午後の部の最後は、早川円浄さんによる『絵ごころ歌ごころ』と題して講演されました。講演に先立ち会場の参加者に歌詞カードが配布されたり、お寺の住職さんと言うことで、どんな方がいらっしゃるのかと想像していたら、ギターを

片手に登場され、気取らない語り口とその風貌に会場の雰囲気も和んでいました。氏は「私たちは皆、苦を持っている。人生は苦で始まる。」と言われ、「四苦、愛別離苦(愛するものとの別離)・怨憎会苦(いやな人やいやな事に会う)・求不得苦(欲しいものが思うように手に入らない)・五蘊盛苦(人間の五官(眼・耳・鼻・舌・身)で感じるものや心で感じる苦しみ)」をお話しされ、これらの事柄を説明されるのに「ふるさと・人生の並木路・見上げてごらん夜の星を」の歌を会場の参加者と歌いながら分かりやすくお話しされました。「苦を如何に楽に変えることが私たちの人生。それだからこそ人生の意義がある。だからこそ生き甲斐を見つけ、大いに趣味を持ちなさい。人としているために下手でもいいから歌を歌ったり、絵を描いたりすると良い。それが絵ごころ歌ごころなのです。」と言われていました。また、「人と人とのつながりが大事である」とも言われ、壇上とフロアが一体となって大きな歌声が会場を満たしていました。氏のお話には私たち自身考えさせられることも多く、とても奥深い内容ながらユーモアとウイットに富んだお話で、楽しく為になる一時を過ごせました。

最後に、岡田寿夫大府病院院長から、フェスティバル開催にあたり後援していただいた自治体を始めとする関係機関、開催準備で尽力していただいた関係機関や団体、当日の運営で支えていただいたスタッフの皆さんへのお礼の言葉がありフェスティバルは終了しました。



新病棟 平成15年8月オープン予定

Open

平成15年7月末竣工予定の共和病院増築・改修工事（第1期）ならびに新館の簡単な説明と概要をお伝えいたします。新館は鉄筋コンクリート地上5階建ての建物で、1Fは43床の老人痴呆病棟、2Fは40床の内科療養病棟、3Fは53床の精神科病棟、4Fは社会復帰機能エリア（理学療法・作業療法）と4、5の2フロア吹き抜けで患者さまがレクリエーションや軽い運動ができる小運動場を兼ねた多目的ホールから構成されています。このホールはミニシアター設備を有し、患者さまの映画鑑賞会などにもご利用いただけます。また、同時期に現在A館にある厨房・職員食堂もB館1Fに移転いたします。



《工事概要》

- 1) 工事名称 / 共和病院増築・改修工事（第1期）
- 2) 工 期 / 平成14年5月15日～7月31日（新館、厨房・食堂棟）
- 3) 設計監理 / (株)山下設計中部支社
- 4) 施 工 者 / (株)大林組名古屋支店
- 5) 敷地面積 / 8635.16㎡
 建築面積 / 1579.52㎡
 延床面積 / 6287.88㎡

A館改修工事	S造地下1階	延床	520.99㎡
B館増築工事	S造地上1階	延床	125.90㎡
B館改修工事	RC造地上1階	延床	313.96㎡
新館増築工事	RC造地上5階 PH1階	延床	5327.03㎡
計			6287.88㎡
- 6) 構造・規模
 鉄筋コンクリート造：地上5階 棟屋1階
 最高部高さ：GL+21.20m
 最深部：GL-1.95m
 屋上屋根：アスファルト防水 合成高分子シート防水
 外装：コンクリート打放地下 アクリル系吹付タイル 2丁掛タイル

中堅職員研修に 参加して

平野 俊輔

初めて参加するよう指示があった時、正直なところ「めんどくさいな…」という思いでした。しかし、いざ参加すると心地よい緊張の中、時間が経つのも忘れ講義や作業に熱中してしまいます。その理由のひとつに講師である加藤 研一さんの話し方や講義の進め方にあると思います。わかりやすく、楽しい内容の講義であり、その内容は仕事をしていく上で必要なことばかりですので、自分も含め参加している職員は、笑顔ながらも真剣に取り組んでおります。また、普段はあまり接する事のない他部署の職員と共同で作業をすることで、コミュニケーションを取る事ができることも研修の目的の一つだと思います。

今までに加藤さんを講師に招いた研修は3回行われており（私は3回とも参加しています）、第1回・第2回は“現状の自分を見つめ直し、自分の目標を定める”といった内容で、第3回は「PDLA」と「報連相」といった具体的事例について行われました。いずれも、今まで自分が“なんとなく考えていたこと”や“なんとなく聞いたことがある”といった事ではありましたが、研修に参加することにより改めて自分に必要な事と強く感じています。

実際研修に参加するとき、いつも「前回より自分は成長しているのかな？」という不安な気持ちを抱えて参加しています。でも、出来るだけ前向きに考えるようにして、少しでも研修の成果を仕事に生かしたいという気持ちで受けるようにしています。また、研修を都合で受けられなかった職員に少しでも研修の内容を、自分の行動で伝えられるように日々の仕事に取り組もうと思っています。

編集後記

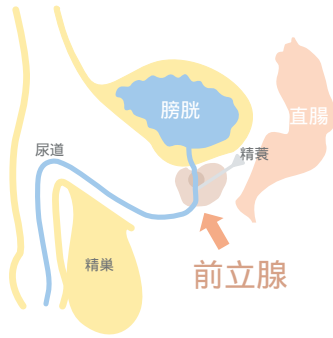


ついにイラクと米・英国の戦闘が始まり長期化の様相を呈してきました。大儀を旗印に主義・主張をし、正義を振りかざしてみても常に被害者が生まれ、弱者が犠牲になっていきます。そんな世界情勢を憂いながらも、平々凡々ゆるい生活をしている自分を今一度反省し振り返ってみたいと思います。日常生活の中でも私達が主義・主張

ばかりをし、協調や協力を忘れれば全体に影響したり自らの周りで被害者や犠牲者を出しているかもしれません。4月は入学、入社と新入生が希望と期待、そして不安と緊張を抱きながらも我々の元に入ってきます。私達一人ひとりがそんな後輩達の範となるよう、そして世界が平和であるよう願わずにはいられません。

前立腺癌

昨今、新聞紙上をにぎわしている前立腺癌についてお話しします。前立腺は男性の膀胱の出口にあって、尿道をぐるりと取り巻いているクルミ大の臓器です。精液の一部(前立腺液)を分泌し、精子を保護することにより、生殖機能に重要な関わりを持っています。前立腺が年齢とともに増大する前立腺肥大症は排尿障害を引き起こし、夜間に尿で起きたり、排尿しにくい等の症状を引き起こします。前立腺に癌が発生すると初期には自覚症状が乏しく、無症状の場合が多くあります。癌が進行するにしたがって前立腺肥大症と同じ症状が出てきますが、癌では肥大症ほど症状を強く感じない場合が多く、そのため病気の進行は気づきにくく、さらに癌が進行すると、全身の骨や、骨盤内のリンパ節に転移しやすいため、腰や肩の痛みで発見されることもあります。



理由に、日本の高齢化が進んでいることです。前立腺癌の90%が60歳以上であるように、高齢者が増えれば患者数も増えてきます。ほかに生活様式が欧米化し脂肪摂取量が増加していること等も挙げられます。

前立腺癌の治療は、一般的には転移のない癌(前立腺内にとどまっている場合)には高齢者を除き、前立腺を手術で取り除く方法が選ばれます。他に内分泌(ホルモン)療法、放射線療法、化学療法があります。もっとも多く用いられる方法は内分泌療法で手術や化学療法で見られる重い副作用が少なく、比較的安全な方法です。

前立腺癌は進行するのが遅く、最初の癌細胞ができてから、癌と気づかれる大きさになるまで、数十年はかかるとされています。そのため早期に発見することが、前立腺癌の対策では最重要課題とされています。診断には、一般診察に加え、腫瘍マーカー(PSA)測定、直腸内指診、経直腸の超音波断層法を組み合わせを行い、異常があると、前立腺の組織検査が行われて確定されます。初期には症状が乏しいため、50歳を超えたら、血液検査で腫瘍マーカー(PSA)の測定をすることをお勧めします。実際、集団健康診断で50歳以上の男性にPSAの測定を行っている地域があります。“早期発見”に心がけてください。

前立腺癌はもともと欧米諸国に多い癌で、これらの国では、男性の癌の上位を占めています。特にアメリカでは発生率で1位、死亡率では肺癌について2位となり、その対策が大きな問題となっています。日本ではここ30年余りで、驚くほど増加を示しており、男性の癌の上位に顔を出してきました。増加動向を見ると、20年後には、現在の3倍近くに増加すると予想されます。ここまで前立腺癌の発生が増える



『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは!
患者様に安心と満足を提供する医療
良質且つ効率的な医療の提供
患者様へのサービスの充実

私たちが目指す『楽しい職場』とは!
毎日の出勤が楽しくなる職場
職員のレベルアップと仕事の充実が
感じられる職場
職員の満足が患者様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしは、利用者の皆様へより良い医療をやさしく安全に提供し、納得のいく医療を受けていただくために努力しています。それには利用者の皆様と医療者の意志の疎通が最も重要であると考えます。

これを実現するために、わたしたちは思いやりのある、人格を尊重した医療を提供するとともに、以下のような医療を目指しています。

- 1.あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
- 2.あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
- 3.あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
- 4.あなたの医療上の個人情報保護されます。

病院長 榎本 和



特定医療法人 共和会 **共和病院**

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)
URL <http://www.kyowa.or.jp/>

俳句コーナ

名譽院長
加藤 邦之助

木瓜咲くや
漱石拙を
守るべく 漱石

辞書に拙とは自己の謙称、拙者とは二人称、男子が自らをへりくだっていう語と書いてあります。芭蕉も茶も漢詩を熟知していてそれを本歌もとつたとして多くの作句をしています。漱石も十四才頃自ら漢学塾「松学舎」に年余入学、漢詩も習得していたのです。明治時代、漢学は般の教養のある人には必要な学問であつたのです。私も大正生まれですが中学校にて漢文の学科がありました。

「拙を守る」と言つのは陶淵明の詩の「拙を守りて田園に帰る」とか、老子の「大巧は拙の如く」とあるように、世渡りが不得意でもよろしい、世俗におもねらするがままの愚かな自分にあまんにて生きていく事を言っているのです。

この句は明治三十年の作ですが、同四十年に當時の首相の接待妻を二枚の葉書で断つたり、四十四年には文学博士授与を辞退したり、拙を守つた一生をいみじくも詠っています。